

2026年2月2日
日研トータルソーシング株式会社

【日研トータルソーシング】

半導体産業をけん引する熊本における、産官学連携を強化した人材教育 熊本テクノセンターにて、当社初となる普通科を含む 熊本県立高校生向け半導体研修を実施

多様な人材を人的資本と捉え、人材ソリューションで可能性を創造する「人的資本創造企業」の日研トータルソーシング株式会社（本社：東京都大田区）は、1月16日に半導体メンテナンス人材を育成している研修施設「熊本テクノセンター」にて、熊本県の県立高校の生徒を対象とした半導体研修を実施しました。本研修は、より多くの生徒に将来の選択肢を提供するため、当社として初となる普通科の生徒も対象に含めての実施となりました。



熊本県内では、半導体関連企業の相次ぐ進出を背景に、深刻な人材不足への対応として産官学が連携した人材育成が活発化しています。熊本大学が他大学と連携した半導体人材育成の取り組みを発表するなど、その勢いはさらに加速しています。

経済産業省は、2030年までに国内の半導体関連企業の合計売上高を15兆円超に引き上げ、安定的な供給体制を確保する方針（※1）を打ち出しており、業界全体でさらなる需要拡大が見込まれています。

一方で人材面においては、九州半導体人材育成等コンソーシアムによると、九州地域では短期・中長期的に年間約1,000人の人材が不足すると予測（※2）されています。こうした背景から、産官学が連携した半導体教育の重要性は一層高まっています。

当社では、より多くの方に質の高い教育・研修を提供するため、2023年に熊本テクノセンターを半導体教育に特化した研修施設として拡張移転しました。故障調査から改善まで対応できる実践力を備えた人材の育成に取り組むほか、独自開発し特許を取得した半導体搬送演習装置を研修に導入するなど、実践的な教育環境の整備を進めています。

また、産官学連携の取り組みとして、熊本県教育庁と連携し、熊本県立高校における企業訪問・エンジニア派遣実習、熊本県立高校の教職員向け半導体研修などを実施してきました。こうした取り組みを通じて、半導

体業界の人材不足解消に貢献しています。

今回、当社として初めて普通科生徒を含む熊本県立高校生を対象とした半導体研修を実施し、専門知識の有無にかかわらず、半導体産業を将来の進路選択の一つとして考える機会を提供しました。さらに、2026年2月には熊本県立高校の教職員向けの半導体研修の実施を予定しています。

今後も当社は、質の高い教育・研修を提供することで半導体関連産業の人材育成に貢献してまいります。

※1) 参照：経済産業省「半導体政策の動向」

https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/jyoho/oshirase/251020_1_1.pdf

※2) 参照：九州経済産業局 情報政策課（九州半導体人材育成等コンソーシアム事務局）

「九州半導体人材育成等コンソーシアムにおける人材育成の取組」

<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/293033.pdf>

■熊本県立高校生徒向けの半導体研修の様子（1月16日）

当日は、熊本県立高校計6校から10名が参加。半導体の構造や種類、用途、産業の歴史といった座学研修の後、同センターに設置されている半導体製造装置を用いて当社で実際に運用しているカリキュラムに基づき、部品交換やOリング交換などのメンテナンス業務の実技研修を実施しました。



■参加生徒2名より研修を終えての感想（一部抜粋）

・普通科に通っており、半導体について学ぶのは今回が初めてでしたが、短い時間の中でも多くのことを知ることができました。将来志望している情報系分野も半導体と関わりが深く、今後の進路や就職を考える上でも非常に有意義な経験となりました。

・工業高校の機械科に在籍しています。本日の研修を通じて、私たちの生活に欠かせない半導体への理解を深めることができました。日常生活を支えている身近なものにも半導体が使われていることを知り、感動を覚えました。進路はまだ決まっていませんが、今回の研修をきっかけに、半導体に関わる仕事への関心が一層高まりました。

■熊本県教育庁担当者のコメント

熊本県内で半導体需要が高まる中、半導体業界を進路の選択肢とする生徒も増えています。今回は、初めて普通科の生徒を含む県立高校生を対象とした、半導体製造装置の設備保全に関する研修を実施しました。研修に参加し、半導体関連産業についての理解を深めることが、生徒自身の進路選択における判断材料

の一つとなり、よりよい進路選択につながることを期待しています。

参加した生徒からは「半導体への関心が深まった」「将来は半導体に関わる仕事に就きたい」といった声が寄せられるなど、高校生のキャリア形成において大きな成果が表れています。

■日研トータルソーシング担当者のコメント

本研修は、熊本県教育庁と連携し、高校生に半導体教育を提供することで、半導体産業で働くことを将来の選択肢の一つとして考えてもらうことを目的に実施しました。

熊本の半導体産業は、工場新設や設備投資が進み、今後も成長が期待される一方で、現場を支える人材不足という課題を抱えています。当社は、こうした課題に対し、研修を通じて実践力を備えた人材を育成・輩出することで、半導体業界の人材不足解消に貢献していきたいと考えています。

■日研トータルソーシング産官学連携における半導体教育のこれまでの取り組み

2023年11月：熊本県立玉名工業高等学校生徒による企業見学

2023年12月：熊本県立玉名工業高等学校へエンジニア派遣実習

2024年2月：熊本県立高校の教職員向け研修

2024年9月：熊本県立水俣高等学校生徒向け研修

2025年1月：熊本県立八代高等学校生徒向け研修

2025年1月：熊本県立玉名工業高等学校へエンジニア派遣実習

2025年2月：熊本県立高校の教職員向け研修

2025年12月：熊本県立玉名工業高等学校へエンジニア派遣実習

2026年1月：熊本県立高校生向け研修

■熊本テクノセンターについて

熊本テクノセンターは、主に半導体製造装置の定期メンテナンスや事後保全を行う保全エンジニアや、工程ごとの製品検査・品質管理などを行うラインエンジニアや生産オペレーターとして就業するスタッフのためのスキルアップ研修（半導体基礎・実技）を行っています。半導体製造装置の組み立てや改善・改良のための設備保全エンジニアの育成を図り、製造から保守・保全まで一貫したキャリアアップをサポート可能です。また、同センターでは、配属先の作業環境と同等の研修機材を使用したスキル認定でスタッフの作業習熟度を把握し、就業後のスキル不足等を解消するとともに、作業で重要なコミュニケーションやチーム作業を取り入れた研修にも力を入れています。

【概要】

名称：熊本テクノセンター

所在地：熊本県熊本市中央区本荘4-1-1 藤本ビル



■自社研修施設「テクノセンター」について

当社では、業界に先駆けて自社研修施設「テクノセンター」（全国 9 施設）を立ち上げ、設備保全に適応したスタッフの育成に着手してきました。未経験者を対象とした研修期間は 30 日で、クライアントの要望を踏まえ磨き上げた独自の研修マニュアルを使用します。研修生たちに設備保全の基礎を習得してもらうほか、現場仕様の製造ラインなども用意し、実践ながらの環境を整えています。さらに新入社員をベテラン社員に帯同させて派遣する OJT 制度も設けています。このほかテクノセンターでは、新卒エンジニア、キャリアエンジニアスキルアップを目指す当社スタッフを対象とした研修なども行っています。

当社は今後も、お仕事をお探しの方、就業中のスタッフの方にキャリアサポートをはじめ様々な取り組みを進めながら就業機会の創出を図るとともに、人材活用を検討する企業の多様なニーズに応えてまいります。

■日研トータルソーシングについて

「人的資本創造企業」として業種や職域の枠組みを超え、様々な領域で活躍する人材を「人的資本」と捉え、人材ソリューションを通じて働く人・企業・社会の可能性を創造していきます。

【当社求人サイト】

- ・工場・製造業の求人サイト「e仕事」：<https://1145.jp/>
- ・地域密着の求人サイト「e仕事マイタウン」：<https://mytown.1145.jp/>
- ・製造業エンジニア向け求人サイト「e仕事エンジニア」：<https://engineer.1145.jp/>
- ・新卒採用サイト：<https://nikken-totalsourcing.jp/work/newgraduate/special/>

【会社概要】

設立	1981年4月
本社所在地	東京都大田区西蒲田
代表者	清水 浩二
事業内容	総合人材サービス（業務請負事業／人材派遣事業／人材紹介事業）